

議 事 録

会議の名称	令和3年度第1回茨木市立文化財資料館運営審議会
開催日時	令和3年5月21日(金) (午前・ <u>午後</u>) 6時00分開会 (午前・ <u>午後</u>) 7時30分閉会
開催場所	文化財資料館2階研修室 オンライン会議ツール ZOOM
出席者	委員長：若林 邦彦(同志社大学歴史資料館教授) 副委員長：辻尾 榮市(地域歴史民俗考古研究所所長) 委員：岡市 正規(茨木神社宮司) (ZOOM) 難波 洋三(奈良文化財研究所客員研究員) (ZOOM) 吉村 健(大阪府立茨木高等学校教諭) 石井 美香(茨木市立玉櫛小学校校長) 松村 薫(茨木市小学校社会科研究部会) (順不同・敬称略) 【計7人】
欠席者	委員：瀧端 真理子(追手門学院大学心理学部教授) 足立 久美子(文化のみち代表) 松岡 久美子(近畿大学文芸学部准教授) (順不同・敬称略)
事務局職員	岡田 祐一 教育長 (ZOOM)、小田 佐衣子 教育総務部長 (ZOOM) 木下 典子 歴史文化財課長、前田 聡志 歴史文化財課長代理兼調査管理 係長 (ZOOM)、黒須 靖之 保護啓発係長兼文化財資料館長、 清水邦彦 学芸員、高橋 伸拓 学芸員 桑野 梓 学芸員 【計8人】
開催形態	<u>公開</u> / 非公開
議題(案件)	[1]委員長・副委員長の選出について [2]令和2年度文化財資料館等事業報告について [3]令和3年度文化財資料館等事業計画について 1. 文化財資料館リニューアルについて 2. 事業計画について
配布資料	令和3年度 第1回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	【開会】
教育長	【開会挨拶】
事務局	【会議の成立】 全委員 10 人中 7 人出席につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。
事務局	【再任、新任委員の紹介】 令和 2 年 5 月 1 日付けで新たに委嘱された 10 名の委員の紹介。
	【事務局の紹介】 令和 3 年 4 月 1 日付けの人事異動に伴う事務局職員の紹介。
	《案件 1 委員長・副委員長の選出》
事務局	【委員長及び副委員長の選出】 茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 3 条第 1 項「審議会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選とする」により、互選による選出を説明。
難波委員	委員長は、若林委員にお願いしたいと思います。 (異議なしの声) —他委員の賛同を得て、委員長は若林邦彦委員に決定—
	【副委員長の選出】
若林委員	副委員長について辻尾委員にお願いしたいと思います。 (異議なしの声)

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	—他委員の賛同を得て、副委員長は辻尾榮市委員に決定—
若林委員長	<p>【議事の進行の交代】 議事の進行を事務局から若林委員長に交代</p> <p>【審議の公開について】 審議会及び会議録の公開・非公開について諮りたいと思います。公開についての説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開の旨を説明。資料の閲覧、持ち帰りも審議会の判断で可能であること、会議録についても公表に努めている旨を説明。
若林委員長	審議会については原則に則り公開とし、非公開とすべき案件が発生したときは皆様にお諮りし、非公開を決定します。会議録についても公開とし、資料についても傍聴者への閲覧及び持ち帰りを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。
	(異議なしの声)
若林委員長	本審議会は公開とし、資料の閲覧及び持ち帰りも許可することといたします。傍聴人がいらっしゃるか確認してください。
事務局	2人います。 (傍聴人入場)
	《案件2 令和2年度文化財資料館等事業報告について》
若林委員長	では次第に従い、報告事項の「令和2年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。
事務局	令和2年度文化財資料館等事業報告資料をもとに説明。
若林委員長	ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願ひいたします。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
辻尾委員	和田惟政の説明案内板を設置したとあるが、供養塔はどこに移設されたのか。
事務局	所有者との協議を重ねた結果、文化財資料館で引き取り、館の隣の公園内に移設し、説明案内板を設置している。
若林委員長	新型コロナウイルス感染症対策は大変だったと思うが、小学校3年生向けに実施した ZOOM による出前授業について、どのようなかたちで実施したのか。実際に現場におられた松村委員からも子供たちの反応などあれば教えてほしい。
事務局	例年実施していた「ちょっと昔のいばらき」展、並びに小学校3年生の団体見学が中止となり、対面での出前授業と ZOOM を用いた出前授業を併用して対応するよう準備を進めていたが、コロナ禍の状況悪化により、ZOOM での出前授業のみとなった。ZOOM での出前授業については、研修室内にカメラを設置し、スライド等での説明、用意した民具の実物を映す、さらにはその実演等を行った。また、各教室のカメラとつなぎ、学年一斉に行った。
松村委員	昨年は6年生についても対象とした出前授業を行っていただいた。忍頂寺小学校は本市域の一番北側にある学校であり、社会見学等の実施が困難な面があるため、昨年度は ZOOM を活用して、北海道や沖縄の学校とつながる等の取組みを実施している。出前講座では、火起こし体験や実物の土器に触れる体験をさせてもらった。子供たちは非常に喜んでいて、できれば今年度も ZOOM でつながって色々なことを教えてもらいたい。
若林委員長	事前に遺物等を持って行って、ZOOM でつないで説明したという形か。
事務局	冬に実施した、民具を使った ZOOM の出前授業の際には持って行ってない。但し、夏に調査管理係が実施した忍頂寺小学校、清溪小学校との ZOOM を活用した取組みでは、火起こし体験の道具や土器などをあらかじめ持ち込んで実施した。
難波委員	博物館には展示、社会教育、研究という側面がある。茨木市立文化財資料館は研究面も頑張っていて、昨年度も館報6号が刊行され、若い方が新しい資料等の報告などを掲載しており、非常に評価していいことだと思う。私も書かせていただいて良かった。他の業務も忙しいと思うが、継続的に

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
若林委員長	<p>続けてほしい。展示、社会教育という面に比重が大きくなりがちだが、文化財資料館は東奈良遺跡という非常に重要な資料を抱えているので、これらをはじめとする資料を全国的に活用してもらえるように発信してほしい。また、館報はWEBで公開されていることも評価できる。</p> <p>昨年度の館報はすごく充実していて、驚いたと言ったら失礼だが、非常にパワーを感じた。周辺自治体で最も多くの成果が出た市に今年はなったと思う。研究と展示は別ではなく、研究の成果は展示に還元されるので、素晴らしいことだ。短期で息切れすることなく、研究活動を続けて、展示等の普及啓発活動に役立ててほしい。また、文化財資料館では以前から館報のWEB公開をされているが、現在、大学では様々なことがオンラインとなっており、必要なデータや研究・論考にアクセスできるという問題が非常に大事だと感じるので、WEB公開は続けていってほしい。</p> <p>《案件3 令和3年度文化財資料館等事業計画について》</p>
若林委員長	<p>引きつづきまして、報告事項の「令和3年度文化財資料館等事業計画について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和3年度文化財資料館事業計画資料別紙1をもとに、1.文化財資料館リニューアルについて説明。</p>
事務局	<p>ここで、欠席している松岡委員から、コメントをいただいているので、紹介をしたいと思うがよいか。</p>
若林委員長	<p>お願いします。</p>
事務局	<p>松岡委員より、「展示スペースが減少するのは残念だが、市史編さんの資料をまとめて保管し、博物館において活用することは意義があると思う。展示室のレイアウト案については、今後の館の運営方針に大きく関わるので、何が正解かは一概には言えないが、展示室に手を加える機会はそうそうあることではないので、中長期的な視点で十分に考えたうえで、計画を進められるよう願っている。</p> <p>仕切りパネルによりエリア毎の独立性が高まり、展示が相互に干渉しないのでエリア単位の企画がやりやすくなるといったメリットがある。その反面、仕切りパネル間の通路が図上では1.8m程度で、資料の移動・団体</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>見学・会場監視・緊急避難などの安全面を考えると2階通路の2.3mがひとつの目安になるのではないかと検討いただきたい。また、あまり固定した大きなものを作りすぎると、展示内容を変えていても「いつ来ても同じ」と思われてしまいがちなので、フレキシブルに使える空間を目指す方が、後々の使い勝手がよいのではないかとご意見を頂戴した。</p> <p>以上について、まず通路幅については、2.3mまでは取れないが、実際の幅は2.1mほどあり、ある一定、安全面は考慮した計画としている。また、安全面を考慮すると固定せざるを得ないが、仕切りパネルは恒久的なものと考えておらず、適宜、見直ししてベストなものを検討したいと考えている。</p>
若林委員長	<p>ありがとうございます。ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をお願いします。</p>
吉村委員	<p>展示が11月29日に終了し、一時閉室するとあるが、再開について一定の目途はあるのか。10年以上前から、12月半ばに茨木高校の2年生100名弱が来館し、団体見学を行っている。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったもので、今年度は再開したいと思っているが、そのころには開館しているのか。</p>
事務局	<p>返却や片付けなどで少なくとも2週間以上は閉室することになる。ただし、大きな展示の変更を伴うのはエリア3のみであり、閉室はしていてもエリア1・2については、団体見学の対応をすることは可能である。この件については、調整させていただければと思う。</p>
吉村委員	<p>ZOOMでの出前授業もよいことだが、生徒にとって学校の外に出て、現地に足を運ぶことは新鮮であり、文化財資料館で収蔵庫の見学や遺物整理の現場を見せてもらうなどの実体験ができればと思っている。</p>
若林委員長	<p>文化財資料館が古文書関係の資料を収蔵、閲覧するという新しい機能を2階展示室に持つということ、それに伴って1階の展示室がリニューアルすることは、全体としては大きくて、館の機能や在り方が変質することだと思う。この点について何かご意見があれば。</p>
難波委員	<p>2階の展示室をテーマ展等に使っていたが、資料展示スペースがかなり減ることにならないのかという懸念がある。また、様々な市史関係の資料を管理するとなると、収蔵スペースは確保できているのかが気になる。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>全体としての展示スペースは減ることになる。さらには、2階展示室を「(仮称)郷土資料室」とすることにより、常設としてきた1階展示室でテーマ展等も行う必要がある。そのため、1階展示室をエリア分けして、フレキシブルに使っていく必要がある。また、常時は不可能だが、期間限定の展示等であれば、ロビーの有効活用についても検討していきたい。</p> <p>古文書等の収蔵スペースについては、125平米のほとんどが収蔵スペースとなる。旧市史編さん室で収蔵していた場所の6割程度の広さとなるが、棚の設置を工夫する等して、文化財資料館内に全て収める計画である。</p>
難波委員	<p>1階の仕切りパネルのところに、展示ケースを設置し東奈良遺跡の資料を展示することだが、壁付の展示スペースにならず、重要文化財でもあることから、地震等の対応をしっかりとってもらいたい。</p>
事務局	<p>展示ケースは行燈型を想定しているが、地震対策についても考慮して進めていきたい。なお、中央に置く行燈型ケースの中の東奈良遺跡の展示品については、レプリカを予定している。</p>
若林委員長	<p>文化財資料館にとって非常に大きな変化なので、不明な点などについては今ここでご意見を出していただくのは大事なことだ。私から1点質問したい。2階に収蔵される古文書、紙焼き資料について、閲覧者は歴史資料管理システムのデータベースをもとに閲覧にやってくるのか。それともこのシステムは外部に公開されていて、これを閲覧し、必要な資料を確認したうえで、実物をここに閲覧しに来られるというかたちなのか。</p>
事務局	<p>歴史資料管理システムは(仮称)郷土資料室で使用できるものであり、WEB等での公開は想定していない。システムは、旧市史編さん室で既に作成していたデータベースに、新しいソフトを導入したものである。旧市史編さん室で収集した資料全てをデータベース化しており、デジタル画像でみることができるもので、レファレンス対応、閲覧対応に役立つものと考えている。</p>
若林委員長	<p>収蔵スペースと比べ、閲覧スペースはそれほど広くはない。公開型データベースで見たものを閲覧しに人が来るといっているのであれば、スペースが狭いと思う。レファレンスの人と話をしつつ、データベースも一緒にチェックしてもらって見るというかたちで、不特定多数の人が一度に多く来室するという形の施設ではないという考え方でよいのか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	そのとおりで、基本的には来館いただいでの利用を想定している。
若林委員長	利用にあたって事前に連絡は必要か。
事務局	事前連絡の必要はない。
若林委員長	図書館などのレファレンスの使い方と同じと考えてよいか。
事務局	はい。
辻尾委員	サービス機能、具体的には複写等は可能か。それとも、閲覧のみか。
事務局	基本的には複写希望の方には、お手持ちのデジタルカメラ等で撮影していただくことを考えている。
吉村委員	近世・近代の資料を閲覧できるとある一方で、開室後は近世史専門の正規職員を中心に進めるとあるが、資料は近世のものが大半か。近代のものも少なからず含まれているのか。
事務局	大半が近世資料だが、基本的に家を単位にして収集しているので、近代のものも多く含まれている。
吉村委員	茨木高等学校では学校史の史料が多くあり、市史編さんの際には学校に資料調査に来ている。ただ、学校関係の史料であるため、当然、当時の生徒の個人情報が見える史料も多くあり、個人情報が含まれている資料の取り扱いには気をつけている。閲覧資料を手持ちのデジタルカメラで撮影された場合、個人情報の保護の観点から問題が生じることはないか。
事務局	個人情報については十分に気をつける必要がある。基本的には、事前に個人情報が含まれているかどうか精査したうえで、閲覧に供することを考えている。
若林委員長	今後の方向性は説明いただいたが、実際に特に令和5年度、6年度については、その方向性について今後も継続的に報告をいただいで、審議を続けていくということによいか。事務局の提案をベースに、実際に進めてみて起こること、新しいプランも含め報告を受け、審議を進めていきたいと

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>思うが、異論はないでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>《案件4 令和3年度文化財資料館等事業計画について》</p>
若林委員長	<p>引きつづきまして、報告事項の「令和3年度文化財資料館等事業計画について」、2.事業計画について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和3年度文化財資料館事業計画資料をもとに、2.事業計画について説明。</p>
若林委員長	<p>ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願ひいたします。</p>
石井委員	<p>学校教育にかかわる部分で、ZOOMでの出前授業はとてもいい取組みなので続けてほしいが、コロナ禍がもし収束したと仮定して、近隣校が文化財資料館へ出向いて体験したり、説明していただいたり、昔はしていたと思うが、ZOOMだけに絞っていくのか、今後どのような方向性なのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>当館は実物資料を扱う博物館施設であるため、できる限り実際の資料を見る、触るなど五感に訴えることが大切であると考えている。現状は、コロナ禍で実施できない状況のため、ZOOMでの出前講座が主となっているが、収束した後は、これまでどおり団体見学を行い、新たに取り入れたZOOMも活用していきたい。</p>
若林委員長	<p>他にご意見はあるでしょうか。ないようでしたら、今年度の事業計画につきましては、コロナ禍ということもあり、臨機応変な対応が必要になってくると思いますが、基本的には事務局提案のとおり進めていただき、次年度の審議会で報告を受け、審議するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
若林委員長	<p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。いろいろなご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、これもちまして、令和3年度第1回茨木市立文化財資料館</p>

議 事 の 経 過

発言者

議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項

運営審議会を閉会いたします。
長時間にわたり、ありがとうございました。

以上